横浜瀬戸よこせとまちづくりニュース

発　行：よこせと・まちづくり市民会議
（代表：江口富博）
連絡先：高知市地域コミュニティ推進課
（TEL823-9080・FAX824-9794）
2019年3月
（終刊号）
No.42

人生初！南嶺ハイキング

　平成最後の年、平成30年10月28日に、南嶺ハイキングに参加しました。潮江地区から14名よこせと地区から103名、計117名で、よこせと地区は横浜中学校から、鷲尾山の頂上を目指しました。

　園長から、「田所君は先頭の方を歩いてね」と優しく勧めて頂き（命令！？（笑））先頭集団の中を歩いたものの、山登りをした記憶は遠い昔…。更に、運動不足も相まって、一歩歩く度に、体中が軋む始末…。〃ダイエットをしよう〃と強く心に誓いました。でも、道中、地域の方や立派になった横浜中学校の卒園生とも沢山話をする事が出来、楽しく山登りが出来ました。

　そして歩く事約30分。頂上に到着！見晴らしは最高で、高知市が一望出来、風が疲れた体を優しく癒してくれました。

　山頂でのレクリエーションも担当させて頂き、地域の方とふれあい、交流をさせて頂きました。「この人何者！？」という視線を感じつつも（笑）、さすがの団結力！『よこせとパワー』を感じながら、皆で一つとなって楽しみ、笑顔あふれる交流となりました。また、疲れた体に染み渡る愛情一杯の豚汁を頂き、味も最高で、参加してよかったと心から思いました。

　当日まで準備をして下さった方々、参加者の皆様に、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

　山登り、最高！！　　　　（横浜保育園　職員　田所　康二）

市民会議の主催で、他地域と一緒に実施しました！

第18回よこせと海辺のにぎわい市

日時：2019年5月12日（日）10時～15時

場所：高知県漁協横浜水産施設（通称 灘漁港）

今年も灘漁港を会場に開催します。ビンゴゲームや防災クイズラリーなどのプログラムも予定しています。

ぜひ皆様のご来場をお待ちしています！

横浜中学校

防災まち歩き　－地域防災と中学生－

横浜中学校では、平成26・27年度に「防災教育推進地域指定事業」を受け、また平成28年度からは「学校防災アドバイザー派遣事業」を受け、継続的に防災教育に取り組んでいます。平成29年度には横浜中学校避難所運営マニュアルが作成されました。十分とは言えませんが、着々と防災・減災に向けて取り組みを行っております。

一方で、生徒会活動の一環として、これまで実施してきた「カーブミラー清掃活動」が一定の役割を終えておりましたので、 地域の方々から「避難経路の清掃活動を実施してはどうか」とのご助言を頂いておりました。

こういったことから、平成31年度から「カーブミラー清掃活動」の代わりの新たな生徒会活動として発展させたいと考え、高知大学名誉教授 岡村　眞先生に指導・助言を仰ぎながらの避難経路・避難場所の学習会、「防災まち歩き」を企画しました。

当日平成31年１月19日は、学校と多くの地域の方々の参加を頂き、新しい取組の第一歩を踏み出すことができました。ありがとうございました。

以下の皆さんをはじめ、お声がけして実施しました！

地域（横浜小校区）	地域（新町小校区）	横浜中学校			高知市
		ＰＴＡ役員	生徒会・安全防災	教員	
よこせと連携協議会	横浜新町小学校区地域内連携協議会	ＰＴＡ会長	安全防災委員長	校長	地域防災推進課
			安全防災副委員長	教頭	
よこせと防災連合会	横浜新町小学校区防災連合会	ＰＴＡ副会長	生徒会執行部（安全・防災担当）	主幹教諭	教育委員会教育政策課
				安全防災担当	

この「防災まち歩き」を通して、横浜中学校が地域の防災拠点として、地域の方々とつながり、防災について共に学んでいく環境を構築したいと考えています。これからのご指導・ご助言をよろしくお願いいたします。

（横浜中学校　校長　吉村　元）

横浜小学校

自然学習林での学習活動

これまでたくさんの地域の方に関わっていただき、十分に整備された本校東側の山（自然学習林）と海岸で実施してきました清掃活動を、本年度は自然学習林等での体験学習として、４年生の環境学習を位置付け実施しました。

４年生は社会科の環境学習として、浦戸湾にどんなゴミが流れ込んでいるのか、そのゴミが環境にどんな影響をおよぼすのかを学習しています。３回３時間のべ196人の児童が本校東側の海岸でゴミ拾いをしました。海岸に流れ着いたゴミは、ペットボトルやビニールなどが大半で、今、世界的に問題になっているプラスチックのゴミは浦戸湾でも同じ状態であることが分かりました。このゴミの状態を見て、環境に対して自分たちがこれからできることを考える大変貴重で将来に繋がる学習ができました。ゴミを拾った後の海岸は、全くゴミのない状態になり、クラブの時間を使って釣りをして楽しみました。きれいになった海岸に魚たちも喜んだのか「入れ食い」状態でした。

今後も自然学習林での体験を、横浜小学校ならではの体験学習として学年の学習に位置付け、子ども達の学びを深める貴重な体験として継続していきます。

（横浜小学校　校長　唐岩　隆之）

浦戸湾海洋調査ニロギ釣り

市民会議の主催で、他地域と一緒に実施しました！

浦戸湾の季節の風物詩、恒例の「ニロギ釣り大会」。今年度は、地元漁船５隻のご協力のもと、小中学生34人、保護者・教諭19人を含む総勢69人がニロギ釣りにいそしみました。まず体験するのは灘漁港からポイントまでの約５分の船旅です。爽やかな潮風に包まれるなか、船外機の音に反応したボラが近くで跳ね回り、ライフジャケットに身を包んだ子どもたちからは、その非日常に歓声が上がります。普段目にしても中々行くことのできない浦戸湾の深緑色の海面上を軽快に進みポイントにあっという間に到着。周囲に教わりながら見様見真似で仕掛けをつくって糸を垂れると、さっそく各船から「釣れた～」の声が上がりだします。今年は、当たり年のようです。白銀色の魚体に熱帯魚のような黄と黒の斑点をちりばめた美しいニロギは、小さいながらも釣り人の心を躍らせます。「ギィギィ」との特徴的な鳴き声に、季節を感じながら、楽しい時は流れていきます。子どもたちの笑顔に保護者の顔も緩みっぱなしで、あちこちでスマホのシャッター音が響きます。

海洋調査を兼ねているとはいえ、過去の大釣果の際に家人から言われた「こんなに釣ってきてどうすんの」との苦言を思い出しつつ、釣果には若干の手心も（苦笑）。時折日差しが差し込む曇り空という恵まれた天候のもと、多くの参加者が、ニロギ釣りを堪能しました。漁港に戻ってからは各自の釣果を自慢しあいながら、釣果を確認しあいます。たまに釣れる珍しい魚を、判別用写真と見比べる時間も楽しいものです。

この楽しいイベントを、これからも続けていきたいものです。　　　　（よこせと・まちづくり市民会議　門脇　忍）

てくとこ防災フェスタ！

今年で7年目を迎えたてくとこ会主催の防災イベントを、3月9日（土）に行いました。今年は名前を「てくとこ防災フェスタ」にプチ変更。起震車や煙体験に加え、避難所運営体験や身近にあるもので災害時に役立てる物作りブースを企画してみました。

さらに、高知県の防災キャラクターである「たいさくくん」「ヘルパちゃん」「つなみまん」も参加してくれ、防災フェスタを盛り上げてくれました。また、今年は新たに各ブースを回るスタンプラリーの実施や、高知大学の「防災すけっと隊」に協力してもらい、お菓子袋を使ったポーチ作りを行なってもらいました。

地域の方はもちろん、今年は特に子どもの参加が多く、「防災について楽しく学ぼう」という今回のテーマにもぴったりだったように思います。また施設内で行なった避難所体験でも、「ダンボールでベッドが作れるってすごい！」「こんなにスペース狭いんだね」といった感想が聞かれ、こちらもたくさんの方に興味を持って頂けたようです。

今後も災害時に少しでも役立てる様な取り組みを、地域の方々と一緒に企画していきたいと思います。そしてこのようなイベントを通して、てく・とこ・瀬戸の事もまだまだ多くの方に知っていただく機会にしていけるよう、地域に根ざした施設として取り組んでいきたいと感じました。

（地域活動支援センター　てく・とこ・瀬戸　岡崎　陽美）

上勝町へ行ってきました
～よこせと・まちづくり市民会議お疲れ様会～

岡田事務局長
お疲れ様
でした！

平成30年12月１日（土）から２日（日）、よこせと市民会議の方々と高知市副市長および歴代よこせと市民会議担当者他の14名で徳島県勝浦郡上勝町へ伺わせていただき、毎年よこせと海辺のにぎわい市においでて下さっております月ヶ谷温泉社長様他の方々や花本上勝町長に手厚く歓迎され交流を深めて来ました。

宿泊した月ヶ谷温泉は、徳島インターチェンジから南西に車で１時間少々行った場所で、上勝町は勝浦川の上流に位置した山間の人口約1,600人の町で、近年ではゼロ・ウェイスト宣言（ゴミゼロ運動）と第三セクター企業「いろどり」の葉っぱ（つまもの）ビジネスは日本全国から取材に来るほどになっているそうです。

早朝から数人で月ヶ谷温泉横のつり橋を渡りましたが、その空気の美味しさは山間ならではのもので、その後すぐにヨモギの葉っぱを入れて餅つきしてくださり、人生初の作りたてのヨモギ餅を味わいました。その後に「ゴミゼロ」のシンボルになっている「日比ケ谷ごみステーション」に行き、13品目45分別して町民自ら運んだゴミを資源として再生し、リサイクル率80％超を記録した拠点を見学しました。

帰りには、よこせと海辺のにぎわい市で毎年出品されています棚田米を原料とした純米酒と、肉厚の椎茸をお土産に買って帰り、家で椎茸ステーキを酒肴に堪能させていただきました。今年のにぎわい市でも椎茸を楽しみにしております。

月ヶ谷温泉の送迎運転手さんお疲れ様でした。

（よこせと・まちづくり市民会議　濱口　啓之）

よこせとの広報をやってみませんか？～よこせと連携協議会より～

よこせとの広報部員を募集します！よこせとが好きで何かやってみたい方や、広報にチャレンジしてみたい方など、興味のある方でしたらどなたでも参加していただけますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

（よこせと・まちづくりニュースは今後、形を変えて、よこせと連携協議会に引き継ぐ予定です）

【お問い合わせ先】事務局：よこせと連携協議会　事務局長　田中　敏幸

TEL：080-6394-8856　E-mail：kochiyokohama@yahoo.co.jp

よこせと・まちづくり市民会議 から
よこせと連携協議会 へ

よこせと・まちづくり市民会議は、平成９年に策定された「横浜瀬戸コミュニティ計画」を、約20年にわたって推進してきましたが、「横浜瀬戸コミュニティ計画」を更新した「よこせとコミュニティ計画」の策定により、市民会議の役割をよこせと連携協議会へ引き継ぎ、平成31年３月に発展的解消します。長年にわたって活動ができたことは、皆さまとのご縁があってのものかと思います。誠にありがとうございました。

よこせと連携協議会は、少子化・高齢化の問題と南海大地震などの災害に対する備えの問題等、ここにきて新たに生じている地域課題に対応するため「よこせと」の力を集結し、連携を取りながら、また行政にもご協力いただきながら、解決に取り組んでいこうと平成27年に設立しました。

そして、今回の計画をもとに、よこせとの新たなまちづくりをスタートさせます。「元気で明るい笑顔あふれるまち」を実現するために。今後とも引き続きよろしくお願いします。

（よこせと・まちづくり市民会議　代表　江口　富博）

元気で明るい笑顔あふれるまちへ
よこせと連携協議会　をよろしくお願いします！